

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学会津医療センター附属研究所漢方医学研究室では、本学倫理委員会にて承認された下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 6 月

福島県立医科大学会津医療センター附属研究所漢方医学研究室

鈴木雅雄

■ 研究課題名

鍼灸外来初診患者における症状特性の性差に関する横断研究 - ICPC-2 を用いた分析 -

■ 研究期間

2026 年 7 月 ～ 2027 年 10 月

■ 研究の目的・意義

近年、男性と女性では、病気のなりやすさや症状の出方、治療の効果に違いがあることがわかってきています。また、女性では更年期など、年齢や体の変化によって体調が変わることも知られています。鍼灸を受ける患者さんの中にも、こうした男女の違いや、女性の体の変化による違いがあると考えられますが、実際にどのような違いがあるのかについては、まだ十分にわかっていません。本研究では、鍼灸外来を受診した患者さんの診療記録をもとに、どのような症状で来院しているのか、また生活の質（QOL）がどのような状態かを調べ、男女の違いや、女性における閉経前後での違いについて明らかにすることを目的としています。

この研究によって、患者さん一人ひとりの状態に合わせた、より適切な治療やケアにつながる事が期待されます。また、将来的に鍼灸医療の質の向上や、よりよい医療の提供に役立つことが期待されます。

■ 研究対象となる方

2013 年 5 月から 2025 年 12 月に福島県立医科大学会津医療センター附属研究所漢方医学研究室鍼灸部（以下、鍼灸部）を初めて受診された全ての患者様を対象とします。

■ 研究の方法

この研究はこれまでに鍼灸部を初めて受診された患者さんの診療記録をもとに行う研究です。新たに来院していただいたり、追加の検査や治療をお願いしたりすることはありません。

診療記録に記載されている情報のうち、年齢や性別、来院時の主な症状（主訴）、生活の質（生活のしやすさ）に関する情報（SF-8）を使用します。主な症状については、「ICPC」という分類方法を用いて、症状の種類ごとに整理します。これらの情報をもとに、男性と女性でどのような症状の違いがあるのか、また生活の質に違いがあるのかを調べます。さらに、女性の患者さんについては、閉経前後で症状や生活の質に違いがあるかについても調べます。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年7月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学会津医療センター附属研究所漢方医学研究室であり、研究責任者は会津医療センター附属研究所漢方医学研究室 鈴木雅雄です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学会津医療センター附属研究所漢方医学研究室で利用し解析を行います。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、診療情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに診療情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒969-3482 福島県会津若松市河東町谷沢前田2 1 番地 2

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属研究所漢方医学研究室 担当 鈴木雅雄

電話：0242-75-2100（内線 2028） FAX：0242-275-2568

e-mail：masuzuki@fmu.ac.jp